

製品名: SDF1 (12B8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe17675**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	11kDa

抗原情報

遺伝子名	CXCL12
別名	Stromal cell-derived factor 1; SDF-1; hSDF-1; IRH; hIRH; PBSF; CXCL12; SDF1; SDF1A; SDF1B;
遺伝子 ID	6387.0
SwissProt ID	P48061
免疫原	ヒト SDF1 の合成ペプチド

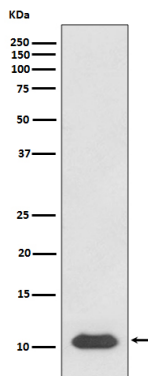
背景

Tリンパ球および単球に活性を示す走化性因子であるが、好中球には活性を示さない。C-X-Cケモカイン受容体 CXCR4 を活性化し、細胞内カルシウムイオン濃度の急速かつ一過性の上昇と走化性を誘導する。また、非定型ケモカイン受容体 ACKR3 にも結合し、 β アレスチン経路を活性化し、SDF-1 のスカベンジャー受容体として作用する。Tリンパ球および単球に活性を示すが、好中球には活性を示さない走化性因子である。C-X-Cケモカイン受容体 CXCR4 を活性化し、細胞内カルシウムイオン濃度の急速かつ一過性の上昇と走化性を誘導する。SDF-1- β (3-72)および SDF-1- α (3-67)は、走化性活性が低下している。細胞表面プロテオグリカンへの結合により、SDF-1- α (3-67)の形成が阻害され、局所部位の活性が維持されと考えられる。また、非定型ケモカイン受容体 ACKR3 にも結合し、 β アレスチン経路を活性化し、SDF-1 のスカベンジャー受容体として働く。インテグリンのアロステリック部位 (部位 2) に結合し、CXCR4 非依存的にインテグリン ITGA5:ITGB1、ITGA4:ITGB1、ITGA5:ITGB1 を活性化する (PubMed:29301984)。LYN キナーゼを介して、単球遊走の正の調節因子および単球接着の負の調節因子として働く。受容体 CXCR4 および ACKR3 を介して単球および Tリンパ球の遊走を刺激し、 β 2 インテグリンのリガンドである ICAM-1 で被覆された表面への単球接着を減少させる。SDF1A/CXCR4 シグナル伝達軸は、LYN キナーゼを介して β 2 インテグリン LFA-1 を介した単球の ICAM-1 への接着を阻害する。T細胞株適応型 HIV-1 による CXCR4 を介した感染を阻害する。心筋梗塞後の保護的役割を果たす。様々な細胞で発現する ACKR3 のダウンレギュレーションと内部化を誘導する。胚発生においていくつかの重要な機能を有し、B細胞リンパ球新生、骨髄における骨髄球新生、および心室中隔形成に必要である。IL-7 存在下で骨髄由来 B細胞前駆細胞の増殖、および間質細胞依存性プレ B細胞の増殖を刺激する (相同性による)。

研究分野

免疫学

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の SDF1 発現のウェスタン ブロット分析。